

令和8年度

第65回全日本特別支援教育研究連盟全国大会
新潟大会

第15分科会 交流及び共同学習

～共生社会の実現に向けた取組

(交流及び共同学習、余暇活動充実に向けた地域との連携)～



南魚沼市立総合支援学校

教頭 前田 恵子

I 実践にあたって



平成25年 職業訓練共同施設を転用して開校



みなみうおぬましりつそうごうしえんがっこう (MSG)

スクールバスで南魚沼市・湯沢町から通学



職業訓練共同施設の一部を転用して設立



サンティック
(職業能力開発校)

南魚沼市立総合支援学校

まち全体をキャンパスに！

開校から14年 令和8年度の取組

Ⅱ 教育計画



1 教育目標と学校運営方針

1) 教育目標

○南魚沼市の目指す教育・・・共に学び 共に創る 「学びの郷 南魚沼」

○総合支援学校の教育目標

「こころから からだから 笑顔あふれる 子どもたち」



2) 教育目標を具現化するための基本方針

「まち全体をキャンパスに！」が合い言葉	(地域と共に歩む学校 共生社会の実現)
「いつも子どもが中心」の精神を常にもつ	(安全・安心 一人一人の「良さ」の伸長)
「オンリーワンの学校」を目指す	(選ばれる学校を目指す)
「学校力」を高める環境づくりに努める	(チーム力を生かした全校体制の教育)

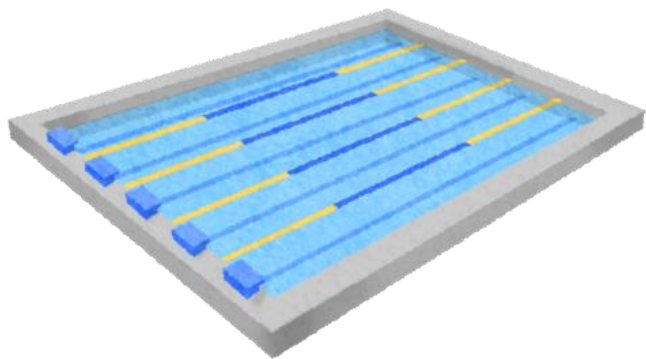
Ⅱ 実践内容

1 まち全体をキャンパスに！

校外活動の取組



(1) 地域の施設を利用した学校行事、校外学習の実施



**グランドやプールが
学校にない**



5月:スポーツフェスタ(南魚沼市デイスポート)
ボランティアの皆様による道具運搬や競技補助



10月:MSGフェスタ(南魚沼市民会館)
高等部:MSGカフェ、作業製品販売

(1) 地域の施設を利用した学校行事、校外学習の実施



地域のグラウンドやプールで行う体育授業



地域の方と一緒にいる生活単元学習
(中学部: グランドゴルフ)



市立図書館での校外学習
(小・中・高等部)

(2) 地域に開かれた高等部作業学習

高等部 普通学級

		月	火	水	木	金
	9:00	登 校				
1 限	9:00 ~ 9:20	日 常 生 活 の 指 導 (着替え・朝の会)				
	9:25 ~ 9:45	保健体育 (朝運動) 日常生活の指導 (清掃)	作業学習	保健体育 (朝運動) 日常生活の指導 (清掃)	作業学習	保健体育 (朝運動) 日常生活の指導 (清掃)
2 限	9:45 ~ 10:05	※前・後半 入れ替え制		※前・後半 入れ替え制		※前・後半 入れ替え制
3 限	10:20 ~ 11:30	学級活動 ・道徳	生活単元 学 習		生活単元 学習	
給食 休憩	11:30 ~ 12:45	日 常 生 活 の 指 導 (給食準備・給食・後片付け・歯磨き・昼休み)				
4 限	12:45 ~ 13:55	保体／家庭 音楽／美術	作業学習 ／ 特別活動	保体／家庭 音楽／美術	作業学習	総合的な 探究 の時間
5 限	14:05 ~ 14:35	課題別探究	課題別探究	課題別探究	課題別探究	自立活動
	14:35 ~ 15:00	日 常 生 活 の 指 導 (清掃・着替え・終わりの会)				
	15:00	下 校				

高等部 重複学級

		月	火	水	木	金
	9:00	登 校				
1 限	9:00 ~ 9:40	日 常 生 活 の 指 導 (着替え・バイタルチェック・水分補給・朝の会)				
2 限	9:50 ~ 10:10	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
3 限	10:20 ~ 11:20	学級活動・道徳 / 自立活動	作業学習	自立活動 / 生活単元学習	作業学習	自立活動 / 生活単元学習
4 限 給食 休憩	11:30 ~ 12:50	日 常 生 活 の 指 導 (給食準備・給食・歯磨き・昼休み)				
5 限	13:00 ~ 13:55	保体／家庭 音楽／美術 ・自立活動	特別活動 / 生活単元学習	保体／家庭 音楽／美術 ・自立活動	自立活動	生活単元学習/ 総合的な探究 の時間
6 限	14:05 ~ 15:00	日 常 生 活 の 指 導 (清掃・水分補給・着替え・バイタルチェック・終わりの会)				
	15:00	下 校				

(2) 地域に開かれた高等部作業学習

MSG  **カフェ**



(2) 地域に開かれた高等部作業学習



接客サービス



サービス班



ドリップバッグ作り



メイキング班



紙袋作成



プロダクト班

MSGカフェを軸とした取組



(2) 地域に開かれた高等部作業学習

高等部：職業技能学習（サービス班）



八海山ロープウェイカフェ



市役所臨時カフェ



市立図書館でのカフェ



図書館カフェで中学部もコラボ



(2) 地域に開かれた高等部作業学習



高等部：職業技能学習(メイキング班)



コーヒーの計量作業



コーヒーパックラベルシール貼り



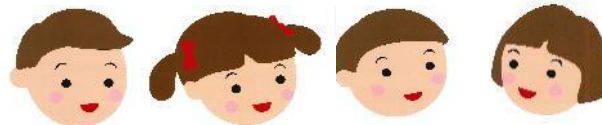
高等部：職業技能学習(プロダクト班)



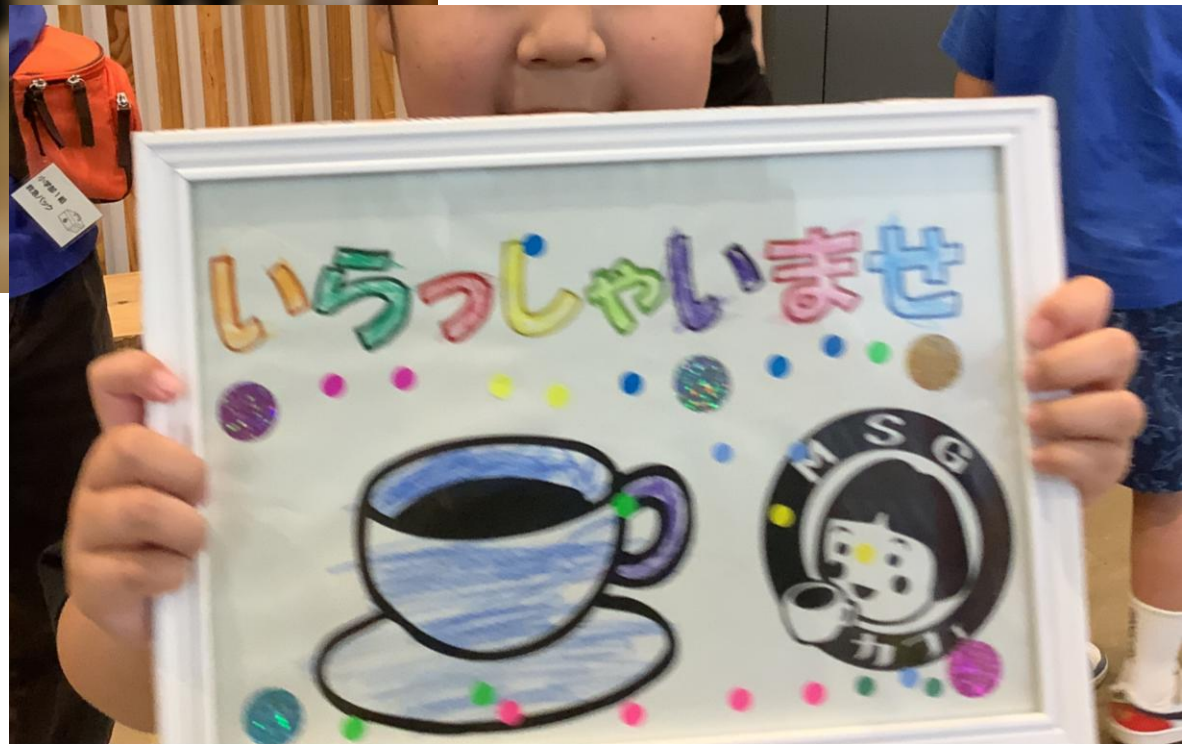
英字新聞手提げ袋



ポチ袋用コメ袋
アイロンがけ



(2) 地域に開かれた高等部作業学習



(3) 現場実習、事業所見学の実施 (一般企業)



(福祉事業所)



Ⅱ 実践内容

2 地域との協働による 教育活動の推進



①運動会、文化祭、田植え、稲刈り、 スキー場学習でのボランティア協力



地域の田んぼでの田植え(6月)



ボランティアの方と稲刈り(10月)



スキー場でのスキー学習(1月)



南魚沼市家
庭教育支援チーム
「だんぼの部屋」



②ビジネスマナー講習、接客指導、 地域の専門家による指導



③アートクラブ、スポーツクラブ、MSGロックフェスティバル、コンサート等の実施



MSGアートクラブ



MSGロック



MSGスポーツクラブ



後援会主催「二十歳を祝う会」

Ⅱ 実践内容

3 地域の小、中学校との連携



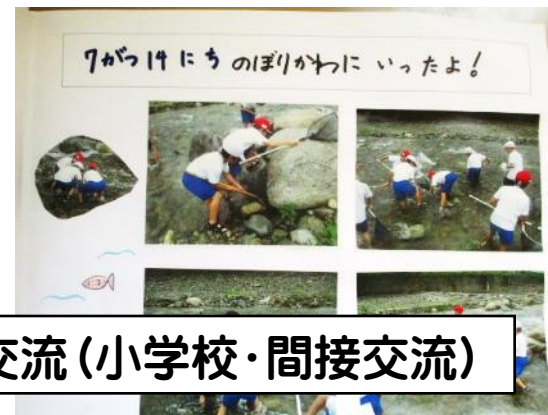
(1) 居住地校交流、学校説明会の実施



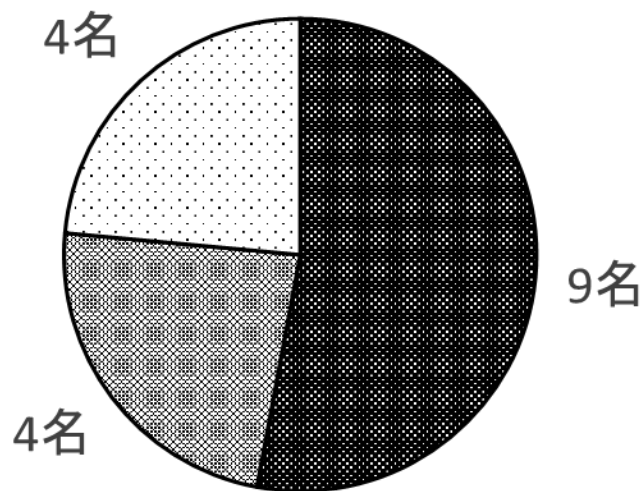
居住地校交流(小学校・直接交流)



居住地校交流(小学校・間接交流)

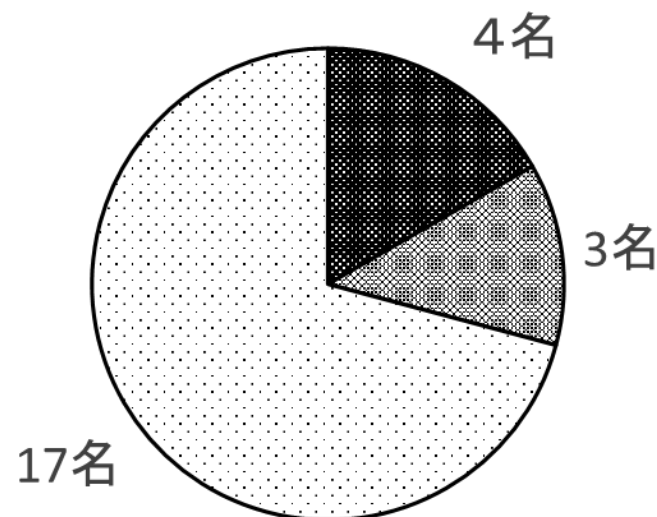


小学部(在籍17名)



■ 直接交流 ■ 間接交流 □ 交流無し

中学部(在籍24名)



■ 直接交流 ■ 間接交流 □ 交流無し

(2) インクルーシブ教育推進室の設置



郡市教育振興会特別支援教育部会研修(校内事例研修会:R6.8月)



教育基礎研修(R7.5月)

成果と課題

＜成果＞

- MSGカフェの取組では、継続してきたことで常連客ができ、その方々との交流を通して互いに理解が深まったり、広がったりした。
- 居住地校交流では、感染症禍以降再開したことで、地域に住む一人の存在として継続的な交流が続いている。
- 後援会主催の二十歳を祝う会では、高等部を卒業した後もつながりをもつことができている（18歳できれないつながり）。

＜課題＞

- △ 感染症禍で教育活動が縮小したことにより、感染症流行以前の活動とのギャップがある。以前は、土日も地域に出て活動していた。地域のニーズとの折り合い。
- △ 働き方改革。
- △ 児童生徒数の減少、作業製品等今まで通りの活動が難しい。新たな工夫が必要。

今の現状に合った協働・共生の実現。

今後も地域とのつながりは不可欠であり、

持続可能な協働・共生をめざしていく。

ご清聴ありがとうございました



南魚沼市立総合支援学校